

# 膵がんの患者さんを対象とした 治験をおこなっています

## 治験（ちけん）とは？

薬の効果や副作用を調査し、研究することを「臨床試験」といいます。その中でも、国(厚生労働省)から「くすり」として認めてもらうために行われる試験のことを「治験」といいます。

## 治験にご参加いただける方の主な基準

- 満20歳以上の方
  - 医師により膵がんであると診断され、また手術による治療が難しいと医師が判断した方
  - 膵がんに対して、ゲムシタビンを使用した化学療法を行い、十分な効果が得られなかった方
  - 次に行う化学療法として、nal-IRI/FL療法\*を予定している方  
\*nal-IRI/FL療法：フルオロウラシル+レボホリナートカルシウム+イリノテカン塩酸塩水和物  
リポソーム製剤併用療法
  - 膵がんの大きさが長径10mm以上の方
  - 立って歩いたり、軽い作業などが可能な状態の方
  - 経口で、食べたり飲んだりすることが可能な方
  - 治験のための来院や、検査などの実施が可能な方
  - 治験薬投与前の検査で、一定の基準を満たす方
- ※ この他にもいくつか基準があり、基準に合わない場合にはご参加頂けないこともございます。

## 募集期間

**2026年12月まで**

※ 予定よりも早く募集を  
締め切る場合もございます。

## お問い合わせ先

富山大学附属病院

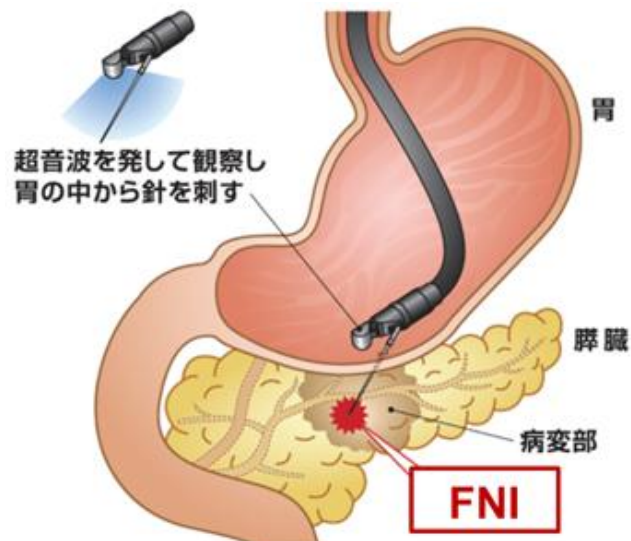
臨床研究開発推進センター：076-434-7152

(平日9:00~17:00)

Ver.2.0 2026年2月24日作成

ご興味がある  
方はお気軽に  
お問い合わせ  
下さい。





東京都健康長寿医療センターHPより引用、一部改変

## すい臓がんの治験について

- 抗がん剤（点滴）と治験薬を投与します。
- 治験薬は内視鏡を使ってすい臓に直接投与します。
- **2週間に1回**の間隔で投与（入院）します。
- 投与にあたり**原則2泊3日の入院**があります。
- \* 治験薬を投与しないグループに割り振られることもあります。

